

画を作成・実施すること。

さらに、海軍医療部に影響のある脅威及び攻撃に対する準備、防止、保護、対応、回復を行うこと。

連絡先：省略させていただきます

[スライド1] DVATEX机上訓練

米海軍病院 横須賀市 2004年2月18日

[スライド2] 訓練の目的

- ・生物災害が起きた際、医療体制への影響を検討すること。
- ・当院内及び地域の災害対応用機材の目録を作り、災害時の地域体制の相互運用性を検討すること。
- ・生物テロあるいは新興感染症への対応の中での病院、プレホスピタルケア提供者、保健所、個人医院、県政、軍隊及び日本政府間のやりとりを検討すること。
- ・改善できる点を同定し、関係作りを進めること。

[スライド3] ワークショップの形式

- ・このワークショップは進行役がいるグループ・ディスカッション方式です。
- ・「正しい」あるいは「間違っただ」質問や答えはありません。
- ・楽しみましょう。それは命令です！☺

[スライド4] 自己紹介

[スライド5] こんな事態が起きてしまったら！

[スライド6] こういう姿にはなりたくありません。

[スライド7] また、こういう姿にもなりたくありません。

[スライド8] 大事なものはバランスを保つことです。

昨日に比べたら、今日の方が準備が整っていますし、明日になればより良い準備ができているようにしなければなりません。

[スライド9] 9月11日以来、変化するパラダイム

[スライド10] 統合・協調された軍・民間共同の対応 チームワーク

[スライド11] 私たちが住む世界は変化し続けています。

[スライド12] CBRNE, WMD, NBC, 毎日のように新しい名前が流行します。

[スライド13] C-化学

[スライド14] B-生物

「天然痘が入っていた器に蓋するのを忘れたのは誰？」

[スライド15] R-放射線

[スライド16] N-核

[スライド17] E-爆発物

アフガニスタン・テロ学校 「人間爆弾教室」

一度しかやらないからよく注意して話を聞くように。

[スライド18] 難しい決断

荷造りする時に何を持っていったらいいか

「SARSマスク、パラシュート、化学攻撃マスク、あるいは全身バイオ・テロ防護服？」

[スライド19] 大災害-肺ペスト-だった場合、どうすればいいのか？

[スライド20] または新興感染症 1918年のスペイン風邪流行病

資料提供：国立医学図書館

[スライド21] あるいはSARS-2003年

[スライド22] 横須賀-市

・横須賀市は神奈川県南東、三浦半島の中間に位置し、東に東京湾、西に相模湾に面している。

・東京から50キロ、横浜から20キロの距離にある。 ・人口43万5千人

[スライド23] 横須賀-基地

・Fleet Activities 横須賀は東洋で最大級の米海軍沿岸施設であり、広さは約500エーカー（61万2千坪）。

・キティー・ホーク空母の母港。

・東京湾の入口に位置し、首都東京から僅か40マイルの距離にある。

[スライド24] 米海軍病院横須賀

・1881年帝国海軍の病院として建設。当初の建物の多くは1923年の関東大震災で崩壊。

・現在、米海軍病院横須賀は日本及び韓国南部駐在の軍関係者、国防総省勤務の民間人

- ・今年の横須賀は例年にない暑さで雨の多い夏を迎えています。病院やクリニック、医師診療所は大勢の風邪やインフルエンザのような症状のある患者たちの治療で大忙しです。夏風邪のシーズンの結果は予想しやすいもので、仕事を休む従業員が増えて地域を悩ませています。これはウイルス？あるいは「夏休み病」？

[スライド33] 8月3日(火) 午前7時30分

- ・この日、病院は非常に忙しい。通常の待ち時間である2時間が4時間に伸びてしまった。地域の救急サービスはいつもより多いEMS(緊急医療)の要請件数を受けていますが、応答時間は許容範囲内を保っています。地域周辺の病院での待ち時間は3時間以上です。

[スライド34] 8月3日(火) 午前9時30分

- ・70代後半の老夫婦が一番下の息子に連れられて海軍病院横須賀に来院。二人とも発熱、頭痛、倦怠感、虚弱感。慢性閉塞性肺疾患の病歴のある婦人は呼吸困難を訴え、痰の出る咳をしているため、上階の臨床ベッドへ案内された。

[スライド35] 8月3日(火) 午後1時

- ・地域中の個人診療所や医療クリニックに多数の「インフルエンザ」患者が訪れる。良い計画が準備されていたため、当初は増大した患者数にも対応ができていた。

[スライド36] 8月3日(火) 午後1時

- ・入院した老婦人の状態が突然悪化。息切れが悪化したため、挿管し、人工呼吸気を使用。午後2時48分死亡。

[スライド37] 8月3日(火) 午後3時

- ・横須賀共済病院の救急室に4人家族が来院。全員発熱、悪寒、咳を訴えている。

[スライド38] 8月3日(火) 午後7時

- ・クリニックで初診され、インフルエンザのような症状で横浜市大学福良病院・同浦舟病院に入院した患者が数名死亡。緊急医療サービス提供団体はインフルエンザの流行が非常に多いことを報告。そのほとんどは高齢者だが、中には心拍停止した若者もあり、インフルエンザのような症状を呈した後、意識不明になり死亡する例が数件あった。

[スライド39] 8月4日(水) 午前7時

- ・夜を通して患者数は減らず。病院にはインフルエンザ患者が殺到。待ち時間は6時間以上。治療を待っていた50歳の男性が待合室で死亡。患者用のベッド数は全く需要に追いつかず。入院待ちの患者たちは廊下で待機。「何時間も」ベッドの開きは望めず。

[スライド40] 8月4日(水) 午前7時

- ・発熱、悪寒、頭痛を訴える患者たち
- ・中には咳及び赤っぽい黄色の痰のある者も
- ・患者の多くにはβ-ラクタム抗生物質の処方箋を出し、帰宅してもらう
- ・グラム染色法—細菌そうのある gm(-)バチルスが見られる症例も。
Lab tech (研究員) は報告せず。
- ・小動物も発病している

[スライド41] 8月4日(水) 午後4時

- ・あらゆる年齢の患者がどんどん病に倒れていく。横須賀市大学病院の感染症管理看護師が神奈川県医療部に事態を報告。神奈川県医療部は厚生労働省に報告。
- ・日本では感染症は「感染症防止及び感染症患者の医療に関する法」によって管理されている。

[スライド42] 8月5日(木) 午前6時

- ・朝
- 昨日からの患者12名が海軍病院横須賀に入院。セプシスにより7名死亡。
- 早期の敗血性ショックにより37名の患者が横須賀共済病院に入院。
- 横浜浦舟病院に15名入院、2名死亡。
- 大葉性肺炎患者が多数入院。そのうちの多くは咯血。

[スライド43] 8月5日(木) 午前7時

- ・新しい一日の始まりとともにマスコミがこの健康危機に気付き始める。
CNNのクリス・バーンズ通信員が事態について病院医師長と電話での会話を求める。
地元のカメラ・クルーが病院の正面入口に現れ、医療センター内で
「ライブ・アクション・インタビュー」を行いたいと申し入れる。

[スライド44] ディスカッション

- ・医療サービスを求める現在の需要(量)はこの施設にどう影響しますか。
- ・医療サービスを求める件数が増えた事態をどう対処しますか。
- ・患者が50名増えたらどう対処しますか。100名増えたらどう対処しますか。
- ・増えた患者たちの分の食料と支給物はありますか。

[スライド45] ディスカッション

- ・一時間につき、何名の患者を追加して受け入れることができますか。
- ・その数を超えてしまう時、どうなりますか。
- ・受け入れられない患者たちはどこへ搬送しますか。
- ・地元の病院が患者を受け入れていない場合、どうなりますか。

[スライド46] ディスカッション

- ・この病院に群集が殺到した場合、対応能力(surge capacity)はどの程度ですか。

- ・どのようにこれを実現しますか。
- ・ベッドの開きを作るために何名の患者を退院させることが可能ですか。
そのベッドが使用可能（手術可能??）をするにはどの程度の時間がかかりますか。
- ・追加のスタッフはどこから集めますか。

[スライド47] 群集が殺到した場合の対応能力 (surge capacity) ディスカッション

- ・OST³C-オフサイト、トリアージ・治療・搬送センター
- 化学災害被害者 ・NEHC-近隣緊急援助センター
- 生物災害外来患者トリアージ及び予防 ・ACC-救急治療センター
- 生物災害入院患者治療 ・詳細はここにあります：

http://hld.sbcecom.army.mil/whats_new.htm

[スライド48] 新しい能力

- ・病院職員の緊急時準備及び対応能力
- ・全ての保健所員のためのバイオ・テロ及び緊急時の準備
- ・集団外傷に関する教育のための国際看護師連合－
集団外傷事態に対応する登録看護師のための教育能力
- ・詳細はここにあります：

<http://www.nursing.hs.columbia.edu/institute-centers/chphsr/index.html>

[スライド49] ディスカッション

この事態の中、次の役割は何ですか

- ・クリニック ・病院 ・個人診療所の医師 ・保健所 ・警察
- ・消防・救助隊 ・EMS（緊急医療サービス） ・緊急対策
- ・神奈川県 ・日本政府

[スライド50] ディスカッション

- ・施設の災害対策はいつ「始動」されますか。
- ・この事態について保健所と米国領事館に連絡がありますか。
- ・そのような連絡があった場合、保健所はどのような行動・連絡をするべきですか。

[スライド51] ICS/IMSコマンドと一般的な職員配置

基本的な事件時の命令統計

事件コマンドー リエゾン職員 安全・警備職員 情報職員
ロジスティックス部 計画部 財務部 オペレーション部

- ・各ICS職業が優先すべき5つのことは何ですか。

[スライド52] ??

[スライド53] ディスカッション

・この事態がどういふふうに進展すれば日本政府、BUMED、アメリカ政府への通告が必要となりますか。どのように連絡しますか。

- ・NDMSとの連結は必要ですか。
- ・マスコミと公衆にはどのような情報を伝えますか。
- ・公衆はどのように反応すると思いますか。

[スライド54] 時間を遡ってみましょう

米海軍友好記念日 2004年8月1日(日)

- ・2万人が基地をツアーで訪れた
- ・バンドの生演奏、アメリカの売店、ゲーム
- ・キティー・ホーク空母のツアー

[スライド55] 8月1日(日) 生物毒攻撃

[スライド56] 米海軍友好記念日

[スライド57] 8月5日(木) 午後1時

- ・事態は大惨事となってしまった。病院、クリニック、個人診療所、EMSはいずれも非常に多い患者数に対応に追われている。患者は皆、次の症状を呈している。高熱、倦怠感、息切れ、極度の衰弱感。これらの患者たちの胸部X線検査の殆どは気管支肺炎を表している。

[スライド58] 死傷者者報告書

	第4日	第5日	第6日	第7日
・現在の被害者数	133			
・健康だが不安を抱えた人	749			
・死者合計	9			

[スライド59] 8月6日(金) 午前7時

- ・病院及びクリニック・スタッフは「病欠」の電話を入れるようになっている。地域の保健所は自宅を出ないよう勧告し、セルフケアの処置法を提供し始めている。厚生大臣との会議が開かれ、そのスタッフを含めて事態は本格的な健康危機であり、恐らく意図的に引き起こされたことが知られる。この会議が開かれた情報がどこからかマスコミに流れた。

[スライド60] ディスカッション

- ・この情報に対して公衆はどう反応すると思いますか。
- ・マスコミへはどのような情報を伝えますか。
- ・マスコミの「理性の声」-「信頼できる」スポークスマンは誰がやりますか。
- ・この情報は勤務予定のあるスタッフにどう影響しますか。
- ・病院のスタッフが逃げず、仕事を続けさせるためにはどのような処置を取りますか。

[スライド61] ディスカッション

- ・病院職員、医療スタッフ及び来院者の安全を保障するためにどんな処置が必要ですか。
- ・同僚の職員にはどのような保護を提供しますか。
- ・現在のPPEの在庫量はどのくらいですか。
- ・隔離は必要ですか。携帯用HEPA機械を使用した「呼吸隔離エリア」を設立しますか。

[スライド62] ディスカッション

- ・治療を待っている患者やその家族は現在どのような雰囲気ですか。
- ・このような事態での警備はどのような役割を果たしていますか。
- ・医療警備システムはどの時点で問題発生に気付いていましたか。
- ・ESSENCEの長所と短所は何ですか。
- ・どのように影響のある地区（住民）と対応団体に通達が行われるべきですか。

[スライド63] 8月6日（金）午後1時

攻撃後5日目

- ・予備検査結果でペスト菌が検出されました。WHOの最終確認を待ちながら横須賀市と神奈川県知事は公衆に演説。毒剤によって今回の危機は意図的なテロ行為だと断定したことを発表。県知事は病院及び医療コミュニティーへの可能な限りの支援と供給を約束。神奈川県警察はテロ犯人逮捕に全力を尽くすことを約束。

[スライド64] 生物毒剤

ペスト菌

- ・作用物質の説明 ・兆候や症状 ・診断
- ・感染予防 - 感染前予防 - 感染後予防
- ・治療 ・除染と隔離
- ・感染発生の管理（アウトブレイク・コントロール）

[スライド65] 8月6日（金）

攻撃後5日目

- ・病院は満員に近い
- ・DTRAが初期の方針を発表
- ・CDCとWHOの推定
- 攻撃は海軍友好記念日の8月1日に起きた
- 初期症例1500件、二次症例3000件
- 直接感染2万件・接触感染3万5千件分の抗生物質が必要
- ・午後3時
- CDCとWHOがペスト菌の存在を確認
- 緊急事態が宣言される
- OCONUS戦略的備蓄からの供給が要請される

[スライド66] 8月6日(金)

攻撃後5日目

- ・午後5時
- ーさらに死亡が60件 ーICUは定員オーバー
- ー二次症例の患者23名が入院
- *ICU治療を必要とした件数9
- ー近隣の住宅地で動物の死骸が発見
- ー数日間のうちに1300人のICU患者が予想される
- ーさらに深刻な病である二次症例患者が6千から8千名出ることが予想される

[スライド67] 8月6日(金)

攻撃後5日目

- ・伝染病の治療に必要な薬剤がなくなっているという噂が地域の病院から出ています。
- マスクは「被害者は24時間以内に治療を受けなければ死亡する」と報道。
- ・何人もの自称「専門家」がペストに関する情報をテレビ、ラジオなどで紹介。
- 焦点は病気の伝染性に向けられ始める。

[スライド68] 8月6日(金)

攻撃後5日目ー午後8時35分

- ・米大統領が日本政府への支援を誓約
- ・FBI共同オペレーション・センターが設立
- ・SNS (Strategic National Stockpile・国の戦略的備蓄) から適切な供給品が支給
- ・街はパニック状態
- ・死者数は増え続ける

[スライド69] 死傷者報告書

	第4日	第5日	第6日	第7日
・現在の被害者数	133	221		
・健康だが不安を抱えた人	749	1900		
・死者合計	9	69		

[スライド70] 8月7日(土)

攻撃後6日目

- ・医療スタッフの不足が著しい
- ・ソウルの米陸軍後送病院から医療チームが派遣
- ・死者数は400以上 ・二次症例が増えている
- ・SNSの抗生物質が搬送中

[スライド71] 8月7日(土)

攻撃後6日目ー午後9時45分

- ・地域の抗生物質が底をつく
- ・SNSからの供給品は朝に届く予定
- ・DEPMEDS (4) 軍医療職員が到着

[スライド72] 死傷者者報告書

	第4日	第5日	第6日	第7日
・現在の被害者数	133	221	782	
・健康だが不安を抱えた人	749	1900	5800	
・死者合計	9	69	500以上	

[スライド73] 8月8日(日)

攻撃後7日目

- ・DEPMEDSが配置される
- ・抗生物質が配布される
- ・警察が街をパトロールしている
- ・隔離命令が出る
- ・死者数は786以上で、増え続けている
- ・大陸への感染あるいはさらなる攻撃の可能性?

[スライド74] 死傷者者報告書

	第4日	第5日	第6日	第7日
・現在の被害者数	133	221	782	1327
・健康だが不安を抱えた人	749	1900	5800	9836
・死者合計	9	69	500以上	786

[スライド75] ディスカッション

- ・あなたの施設ではスタッフの感染予防ができるだけの医薬が揃っていますか。
- ・その家族の分の医薬もありますか。
- ・あと何人分のドキシサイクリンとシプロが残っていますか。
- ・抗生物質の補強はどこから入手しますか。

[スライド76] ディスカッション

- ・抗生物質が入手できた場合、どのように配布しますか。大衆の感染予防をするためにはこういった資材が必要ですか。
- ・それはどうやって行われますか。また、どのようにその情報を記録しますか。

[スライド77] ディスカッション

- ・隔離(社会的距離)は必要ですか。
- ・必要な場合、その範囲は何ですか。地域的なものですか。
- ・分離(接触の管理)と隔離は大衆の感染予防にどのような影響を与えますか。

[スライド78] ディスカッション

- ・死者の管理・処理に関してどのような問題を考慮する必要がありますか。
- ・効果的なMOU（覚書）が整っていますか。
- ・相互援助及び対応を妨げる法律上の制約はありますか。
- ・MTF コマンダーと民間医療責任者たちの間にはどのような関係があるべきですか。
- ・基地コマンダーとの間にはどのような関係があるべきですか。

[スライド79] 帰宅してインフルエンザの予防接種を受けるようにしましょう。
あるいは天然痘ワクチンの方がいいのでしょうか。

[スライド80] ストレスはいろんな問題を引き起しますね

[スライド81] 「ああ、あなた！どうしてそんなことを」

[スライド82] 「あまり気分が冴えないんだ。バイパスを二つしたばかりでね」
（「バイパス手術」と「迂回路」をかけた洒落）

[スライド83] 「何年も医学部で勉強したんだからスペルぐらい出来るはずなのに」

[スライド84] 「悪いサマリア人病院」

[スライド85] 「ペースメーカーのセッティングさえ間違えなければ問題ありませんよ。」

[スライド86] 「おい、見てみろよ。こいつ、ポケットに宝くじの当たり券入ってるよ」
「運のいい奴」 Tシャツ「死体安置所スタッフ」

[スライド87] 教訓は「同じ砂場で遊ぶことを覚えた時、皆正しいやり方をする。」

[スライド88] 問題解決の流れ図

機能しているか

はい

いいえ

あなたに関わったか

はい

いいえ

馬鹿者！

他人に知られているか

あなたが捜査している時に故障したか

いいえ

はい

はい

いいえ

誰かのせいでできるか


いいえ

はい

隠す

問題なし！

見て見ぬ振りをする



DVATEX Tabletop Exercise
U.S. Naval Hospital
Yokosuka
February 18th 2004

1

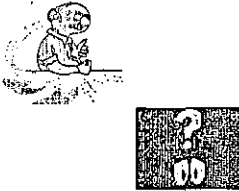
Exercise Purpose

- To explore the impact of a bioevent on the healthcare system.
- To inventory in-house and regional response assets and to explore the interoperability of local systems in a disaster.
- To explore the interaction between hospitals, pre-hospital providers, public health, private physician practices, prefectural governments, the military and the Japanese government in reacting to an act of biological terrorism or an emerging infectious disease.
- To identify areas for improvement and to build relationships.

2

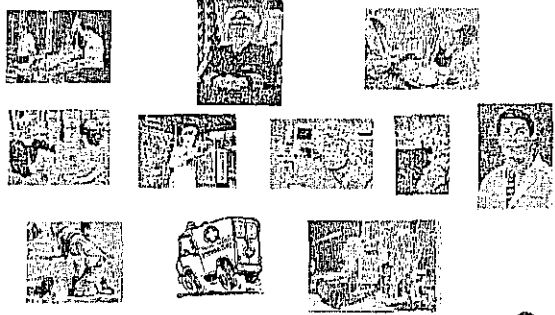
Workshop Format

- This workshop is a facilitated discussion.
- There are no right or wrong questions or answers.
- We're here to have fun - that's an order! ☺



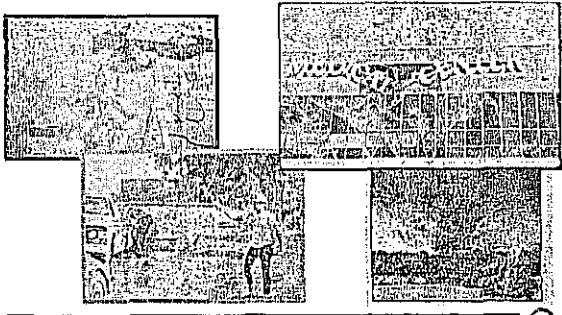
3

Self-Introductions



4

When this happens!



5

We Don't Want to Look Like This:



6

Nor do we Want to Look Like This

7

It's important that we strike a balance!
 We are more prepared today than we were yesterday and we need to make sure that tomorrow we're even better prepared!

8

Changing Paradigms Since 9/11

9

Unified and Coordinated
 Military/Civilian Response

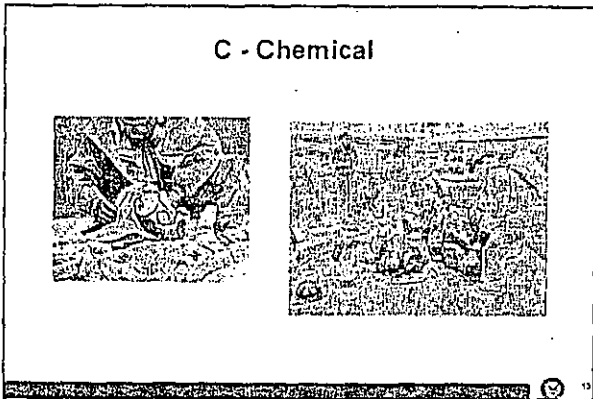
10

We Live in a Changing World!

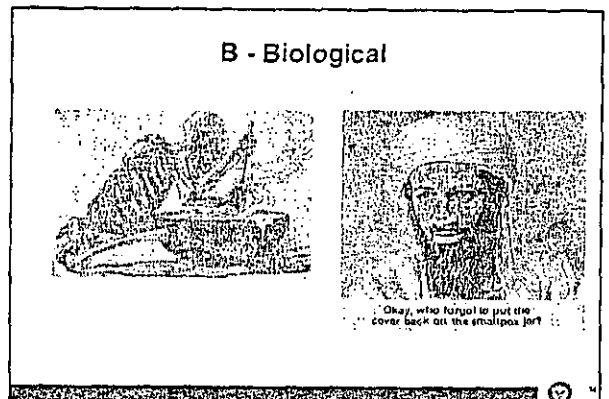
11

CBRNE or WMD or NBC or Name
 De Jour

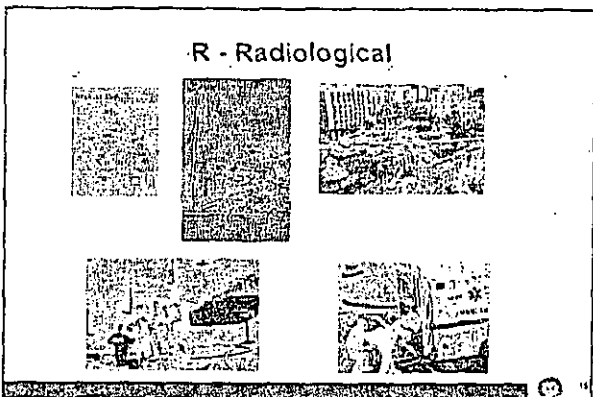
12



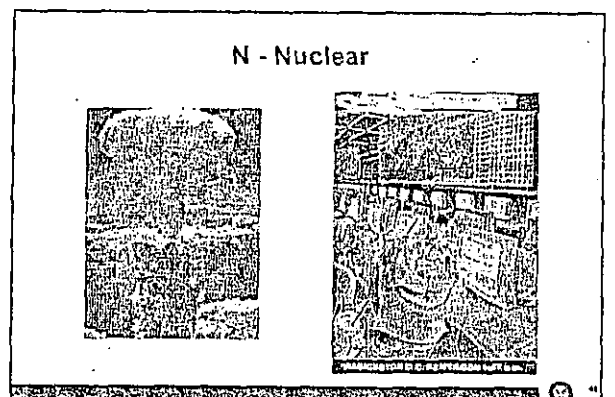
13



14



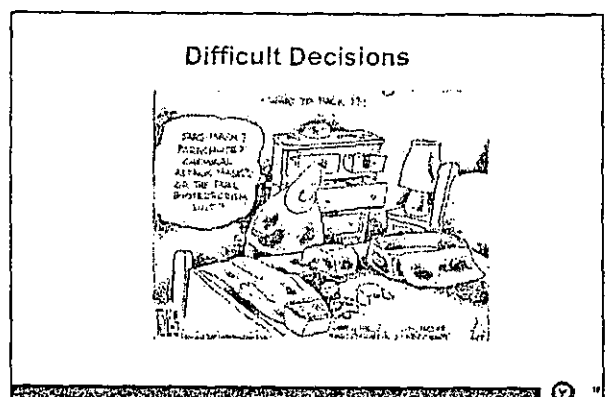
15



16



17



18

What if it's a Catastrophic Disaster – Pneumonic Plague?

19

Or an Emerging Infectious Disease Spanish Flu Pandemic – 1918?

Courtesy of the National Library of Medicine

20

Or Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS) – 2003?

21

Yokosuka – the City

- Yokosuka City is located in the southeast of Kanagawa Prefecture and on the middle of the Miura Peninsula facing Tokyo Bay on the east and Sagami Bay on the west.
- It is 50 kilometers from Tokyo and 20 kilometers from Yokohama.
- Population – 435,000.

22

Yokosuka – the Base

- Fleet Activities Yokosuka is one of the largest U.S. Naval shore facilities in the Far East and covers an area of approximately 500 acres.
- Home to the Kitty Hawk.
- It lies at the entrance of Tokyo Bay, just 40 miles from the capital city.

23

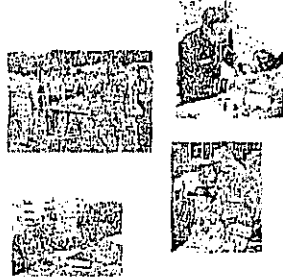
US Naval Hospital Yokosuka

- The hospital began life as a hospital for the Imperial Japanese Navy, first built in 1881. Many of the original buildings were destroyed in the Great Kanto Earthquake in 1923.
- Today the U.S. Naval Hospital, Yokosuka serves about 43,000 military personnel, DOD civilians, and family members in mainland Japan and in southern South Korea.

24

US Naval Hospital Yokosuka

- U.S. Naval Hospital Yokosuka provides force health protection services to the forward-deployed U.S. Seventh Fleet and beneficiaries who support the Fleet throughout the western Pacific.
- 47 inpatient beds
- Hospital Staff – 700+
- EMS provided by the hospital at BLS level.
- SMORT



21

Local Civilian Hospitals

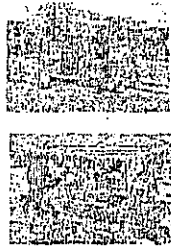
- 15 hospitals with some 3,800 beds in Yokosuka City
- Referral hospitals:
 - ✓ Yokosuka Kyosai Hospital
 - ✓ Yokosuka City Hospital
 - ✓ St Marianna University
 - ✓ Tokai University
 - ✓ Yokohama City University Hospital - Fukuoka
 - ✓ Yokohama City University Medical Center – Urafune
 - ✓ Shonan Kamakura



22

National Hospital Tokyo Disaster Medical Center

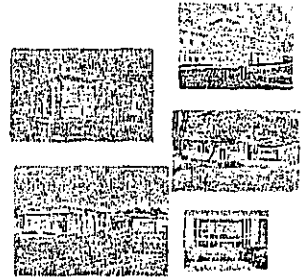
- The hospital has a nine-story main building, nursing-student school, dormitory for nursing students, and apartments for staff.
- In normal circumstances it functions as a central hospital for west Tokyo, as well as a hospital specializing in disaster medicine and emergency care, and as a research center in fields such as disaster-related psychology, sociology, pathophysiology, and resuscitation.
- Should lifelines be cut off in time of disaster, the hospital has its own well, power generators, and a large stock of water, medicine, and food.



27

Branch Clinics

- Six Branch Medical Clinics with staff of 252
 - ✓ Atsugi
 - ✓ Iwakuni
 - ✓ Sasebo
 - ✓ Chinhae
 - ✓ Negishi



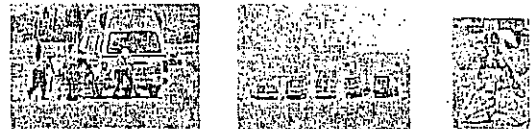
28

Yokosuka Responders



29

CNFJ Regional Fire Department Yokosuka



- Every U.S. Naval facility in Japan has a mutual aid agreement with the cities surrounding them.
- "If we need their assistance, we'll call them, if they need ours, they'll call us."

30

**Is it the Flu or is it Bioterrorism?
You be the Judge!**



21

August 3rd - Tuesday 0730

- Yokosuka has been experiencing an unusually warm, wet Summer. Hospitals, clinics, & physician practices have been busy caring for patients suffering from colds & flu-like symptoms. The Summer cold season has a predictable outcome and is taking its toll on the area by reducing employee attendance. Virus or vacationitis?



22

August 3rd - Tuesday 0730

- The hospital is busy. The usual waiting time of two hours has been stretched to four. The local emergency services are experiencing an above average demand for EMS but are maintaining acceptable response times. Wait time at the local hospitals is now over three hours.



23

August 3rd - Tuesday 0930

- An elderly couple, both in their late 70's, are brought to Naval Hospital Yokosuka by their youngest son. Both are complaining of fever, headache, general malaise, and weakness. The wife, who has a history of COPD, complains of difficulty breathing and has a productive cough. She's transferred upstairs to a medical bed.



24

August 3rd - Tuesday 1300

- Private practice physicians and medical clinics throughout the area are receiving high volumes of "flu" patients. Initially, due to good planning, they are able to keep up with the increased patient volumes.



25

August 3rd - Tuesday 1300

- The condition of the elderly woman who was admitted suddenly deteriorates. Her shortness of breath worsens, requiring her to be intubated and placed on a ventilator. At 1448 she is pronounced dead.



26

August 3rd - Tuesday 1500

- A family of four arrives at the emergency department of Yokosuka Kyosai Hospital complaining of fever, chills, and cough.



August 3rd - Tuesday 1900

- A number of patients seen at clinics and then admitted to Yokohama City University Fukura and Urafune Hospitals with flu-like symptoms have died. EMS providers are also reporting an extremely high volume of influenza runs. Most are elderly patients, though some units have encountered cardiac arrests in young individuals suffering from what appeared to be influenza prior to deteriorating into unconsciousness & death.

August 4th - Wednesday 0700

- Patient volume does not slow down throughout the night. Hospitals are inundated with influenza patients. Wait times are exceeding 6 hours. A 50 y.o. male dies in the waiting room while awaiting care. Inpatient beds are at a premium. Patients awaiting admission are being placed in hallways - no bed expected for "hours"

August 4th - Wednesday 0700

- Patients are complaining of fever, chills & headache
 - ✓ Some with cough and reddish-yellow sputum
- Many are being given prescriptions for B-lactam antibiotics and sent home
- Gram stain - occasional gm(-) bacilli with mixed flora, not reported by lab tech
- Small animals are also ill



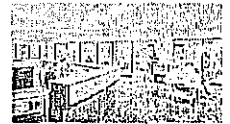
August 4th - Wednesday 1600

- Victims of all ages are rapidly succumbing to their illness. The infection control nurse at Yokosuka City University Hospital notifies the Kanagawa Prefecture Medical Department about the developing situation. They in turn notify the Ministry of Health, Labour and Welfare.
- Infectious diseases in Japan are governed by the "Law concerning the Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients Suffering Infectious Diseases".



August 5th - Thursday 0600

- Morning
 - ✓ 12 patients from yesterday admitted to NH Yokosuka; 7 die of sepsis
 - ✓ 37 additional patients admitted to Yokosuka Kyosai Hospital with early septic shock
 - ✓ 15 cases admitted to Yokohama Urafune; 2 deaths
 - ✓ Admitted patients with lobar pneumonia, many with hemoptysis



August 5th - Thursday 0700

- As the new day dawns, the media is becoming aware of this emerging health crisis. CNN Correspondent Chris Burns calls to speak to the senior hospital physician about the current situation. A local camera crew shows up at the main gate wanting to do a "live action interview" inside the medical center.

CNN.com



Discussion

- How do you think the current demand for medical services will impact your facility?
- How will you cope with the increased demand for services?
- How would you manage 50 additional patients? 100 patients?
- Do you have enough food and supplies to care for the additional patients?

Discussion

- How many additional patients can you absorb per hour?
- What happens when this number is exceeded?
- Where would you re-route patients to?
- If local hospitals are not accepting patients, then what?

Discussion

- What are the surge capacities of your hospital?
- How will you achieve this?
- How many patients could be discharged in order to create additional beds and how long would it take before beds are operable?
- Where do you get the additional staff?

Surge Capacity Discussion

- OSTPC - Off-Site, Triage, Treatment and Transportation Center
Chemical Casualties
- NEHC - Neighborhood Emergency Help Center
Biological Outpatient Triage and prophylaxis
- ACC - Acute Care Center
Biological Inpatient Care
- All available at - http://hhd.sbcom.army.mil/whats_new.htm

New Competencies

- Emergency Preparedness and Response Competencies for Hospital Workers
- Bioterrorism and Emergency Readiness for all Public Health Workers
- International Nursing Coalition for Mass Casualty Education - Educational Competencies for Registered Nurses Responding Mass Casualty Incidents
- All available at - <http://www.nursing.hs.columbia.edu/institute-centers/chphsr/index.html>

Discussion

What is the role in this situation of:

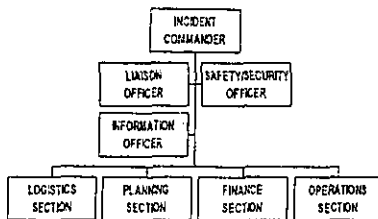
- Clinics?
- The hospitals?
- Private practice physicians?
- Public Health?
- Law enforcement (police)?
- Fire & rescue?
- EMS?
- Emergency Management?
- Kanagawa Prefectural Government?
- Japanese government?

Discussion

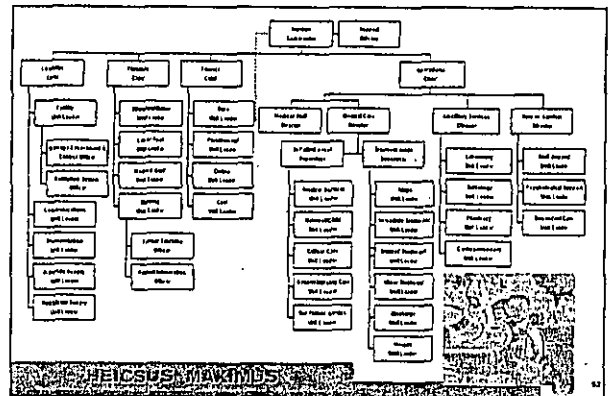
- When would the facility disaster plan have been "triggered"?
- Would the current situation trigger notification of the public health department, the US consulate?
- What actions/notifications do you think the PHD should take/make after receiving such a call?

ICS/IMS Command and General Staff Positions

BASIC INCIDENT COMMAND STRUCTURE



- What are the top five priorities for each ICS position?



Discussion

- When would the current situation trigger notification to the Japanese government, BUMED, and the U.S. Government? How do you notify them?
- Would you need to interface with NDMS?
- What information will you share with the press and the public?
- How do you think the public will react?

Let's Go back in Time to the US Navy Friendship Day Sunday August 1st 2004



- 20,000 people touring the base.
- Live band performances, American stalls, games.
- Tours of the Kitty Hawk.